

登録コード	EKG02900	開講年度	2026				
授業科目	肢体不自由児の理解と支援					担当教員	宮地 弘一郎
英文授業名	Study of physically disabled children					副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	履修学年	
講義室	教育 E 1 0 6		授業形態	講義	備考	2020年度生～	
信大コンピテンシー 該当							
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】		
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ						
	教育の専門職としての学識・技能				特別支援教育専修免許状（肢体不自由領域）の取得および当該領域の専門性を高めるための知識と支援方法論を修得する。		
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ						
	子どもの多様なニーズへの対応力				肢体不自由児の多様な制約要因や障害類型を理解し対応できる専門性を身に着ける。		
(2)授業の概要	・ 授業は講義、および、演習形式で行う。 ・ 講義とディスカッションから肢体不自由の原因疾患に関する専門知識を習得し、臨床像および制約要因について理解する。 ・ 肢体不自由児の発達援助のための科学的アプローチについて、先行研究に位置付けつつ、その視点と方法を学ぶ。また、肢体不自由児の発達援助に関する最新の知見について、受講生が文献を調査し発表する。						
(3)授業計画	第1回 肢体不自由児の理解1：代表的な疾患の臨床像と制約要因 第2回 肢体不自由児の理解2：重症心身障害の臨床像と制約要因 第3回 肢体不自由児の支援1：実態把握と発達援助の理論と方法 第4回 肢体不自由児の支援2：補助・代替コミュニケーション（AAC）について 第5回 肢体不自由児の支援3：演習（脳性麻痺児等の指導に関する最新知見の検討） 第6回 肢体不自由児の支援4：演習（重症心身障害児の指導に関する最新知見の検討） 第7回 総括：肢体不自由児の自己実現と今後の肢体不自由教育						
(4)成績評価の方法	演習における発表内容（30％）、討論（30％）、最終レポート課題（40％）の成績を総合して評価する。						
(5)履修上の注意	受講者の主体的な努力が強く要求されるので、このことを承知しておくこと。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	メールまたは研究室訪問により対応する（アドレスは時間割表に記載）。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。						
(7)成績評価の基準	・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可 肢体不自由児の発達援助と自己実現に関わる研究を自ら展開するための知識理解とその活用能力について 秀(S) : 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優(A) : 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良(B) : 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可(C) : 授業の達成目標の水準にある 不可(D) : 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可(F) : 授業の達成目標の水準にない						
(8)事前事後学習の内容について	専門性の高い幅広い知識内容を習得する必要がある科目であり、授業で講義する内容はその基礎的内容である。演習の準備や事後学習を通して十分な予習・復習を行い、さらに授業で講義した内容やキーワードについて図書館等を活用して調べ学習を行い、知識の習得と内容の理解を図ること。 なお本科目は、授業と授業外の自主学習を合わせて45時間程度の学習を原則とする。						
【教科書】	特になし。必要に応じて資料を配布する。						
【参考書】	適宜紹介する。						